

【主な和文原著】

1. 横山広行, 安武正弘, 福間長知, 今泉孝敬, 斎藤勉, 畑典武, 高山守正, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一. 急性心筋梗塞の5年心事故発生率とその予後規定因子. Ther Res 12: 219-224, 1991.
2. 宗像一雄, 佐藤直樹, 鈴木郁代, 酒井俊太, 大国真一, 藤岡幹雄, 星野公彦, 横山広行, 国見聡広, 浅井邦也, 佐々木美典, 小海信一, 中込明裕, 安武正弘, 説田浩一, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 畑典武, 高山守正, 早川弘一. 経皮的冠動脈形成術: 日本医科大学第一内科初期成績. 日医大誌 58:597-600, 1991.
3. 宗像一雄, 藤岡幹雄, 鈴木郁代, 酒井俊太, 浅井邦也, 佐藤直樹, 横山広行, 佐々木美典, 安武正弘, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 畑典武, 高山守正, 岸田浩, 早川弘一. 心筋梗塞再発例における冠動脈硬化の進展について—2回の冠動脈造影所見からの検討—. 脈管学 1992;32:67-73.
4. 横山広行, 宗像一雄, 高山守正, 富田喜文, 草間芳樹, 田中啓治, 高野照夫, 早川弘一. Late reperfusionの有効性 - 慢性期左室機能と院内心事故より検討 - 医学と薬学30: 1103-1107, 1993.
5. 横山広行, 星野公彦, 中込明裕, 今泉孝敬, 富田喜文, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 佐藤直樹, 国見聡広, 佐々木美典, 安武正弘, 草間芳樹, 畑典武, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一. 待機的PTCA後早期に残存するST下降の成因について. 心血管 8: 190-197, 1993.
6. 竹田晋浩, 横山広行, 杉本忠彦, 内田拓実, 子島潤, 高山守正, 田中啓治, 高野照夫, 井上哲夫, 小川龍. うっ血性心不全に対するNasal CPAPの効果. 日本臨床生理学会雑誌 23:86, 1993.
7. 田中啓治, 横山広行, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一. 再灌流療法施行患者に対する急性期リハビリテーション. Jpn Circ J 58(suppl 4): 1337-1339, 1994.
8. 横山広行, 高野仁司, 小谷英太郎, 大国真一, 草間芳樹, 宗像一雄, 早川弘一, 富田喜文, 高山守正, 高野照夫. 急性心筋梗塞におけるlate reperfusionの有効性: 死亡率、心事故発生率、回復期左室機能、冠開存率の検討. 心血管10: 248-254, 1995.
9. 高野照夫, 横山広行, 太田真夫, 内田巧美, 浅井邦也, 酒井俊太, 鈴木郁代, 星野公彦, 国見聡広, 今泉孝敬, 富田喜文, 子島潤, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 田中啓治, 早川弘一. 急性心筋梗塞におけるショックの対策. 心臓 27: 12-22, 1995.
10. 草間芳樹, 本間博, 酒井俊太, 横山広行, 哲翁弥生, 浅井邦也, 多田裕美子, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一. 運動誘発無症候性ST下降の臨床評価におけるドブタミン負荷心エコーの有用性. 心臓 27(suppl 5): 103-105, 1995.
11. 竹田晋浩, 保坂浩希, 子島潤, 高山守正, 高野照夫, 金徹, 清水淳, 井上哲夫, 小川龍, 横山広行, 早川弘一. うっ血性心不全に対するネーザルマスクCPAPは酸素化能と血行動態を改善する. Ther Res 16: 2499-2501, 1995.
12. 高山守正, 桜井薫, 酒井俊太, 哲翁弥生, 浅井邦也, 横山広行, 今泉孝敬, 子島潤, 高野照夫. 再灌流療法における出血性合併症は心筋梗塞の急性期予後に影響するか?: Coronary, ショック: 診断と治療の進歩 日内会誌 1996 85 16-20
13. 横山広行. 心筋Na⁺/H⁺交換系に関する研究. J Nippon Med Sch, 65(6): 490-491, 1998.
14. 横山広行, 及川恵子, 福間長知, 安武正弘, 高野照夫, 早川弘一, 松澤一郎, 秋元成太. Phosphodiesterase 5 阻害薬Sildenafil適応勃起不全例における冠危険因子と潜在的

- 虚血性心疾患の検討. 臨床薬理 31: 313-314, 2000.
15. 山科育子, 横山広行, 安武正弘, 木内要, 高山守正, 清野精彦, 高野照夫, 田島廣之, 隅崎達夫, 池崎弘之, 小川龍. 術後早期発症の肺血栓塞栓症に対する血栓溶解療法の用量・投与時期に関する検討. Ther Res 21: 1110-1112, 2000.
 16. 横山広行, 高山守正. 薬物療法と問題点(特集:急性心筋梗塞-高齢者の特徴-). ICUとCCU. 24: 31-36, 2000.
 17. Uemura R, Mizuno K, Kasagami Y, Sekido M, Yokoyama H, Satoh N, Yasutake M, Takayama M, Takano T. Characteristics of infarct related coronary artery pressure in patients with angiographic 'No reflow' and reperfused anterior myocardial infarction. Jap J Interv Cardiol 2001, 16:408-414. [Article in Japanese]
 18. 横山広行. 地域医療における循環器救急医療体制の確立による急性心筋梗塞の治療開始時間短縮と死亡率低下に対する臨床的検討. J Nippon Med Sch, 69(6): 614-615, 2002
 19. 横山広行, 時田祐吉, 田近研一郎, 山科育子, 田邊潤, 小川晃生, 清水秀一, 高山英男, 上村竜太, 小嶋俊一, 黒田重臣. 循環器救急輪番制による急性心筋梗塞患者の病院収容時間に関する検討. 医療 57:242-246, 2003.
 20. 横山広行, 藤田 保, 鬼頭 修, 平松慎右, 佐藤康弘, 静岡県東部循環器救急輪番制運営委員会. 収容医療施設と消防本部による循環器救急輪番制の設立と、急性心筋梗塞患者の搬送時間病院収容時間・治療開始時間に関する検討. ICU & CCU 2003; 27(6):549-553, 2003
 21. 横山広行. 腎機能障害を伴う急性心不全に対する心房性ナトリウム利尿ペプチドの効果. 心臓 36(1):61-65, 2004
 22. 佐藤康弘, 栗城聡, 鈴木清文, 平松慎右, 藤田保, 横山広行, 静岡県東部循環器救急輪番制運営委員会. 地方都市におけるコンパクトCCUネットワーク設立の試み-その利点と問題点-. ICU & CCU 29(9):777-782, 2004.
 23. 金澤宏美, 横山広行, 時田祐吉, 山本英世, 宗像亮, 田邊潤, 高山英男, 上村竜太. 低左室機能症例に対する監視型心臓リハビリテーションの継続期間に関する検討. 心臓リハビリテーション. 9(1);135-138, 2004
 24. 横山広行. 心臓病の外来診療(心臓病患者の生活指導 夫婦生活). 日本医師会雑誌特別号. 132:S331-332, 2004.
 25. 後藤葉一, 齋藤宗靖, 岩坂壽二, 代田浩之, 上月正博, 上嶋健治, 牧田茂, 安達仁, 横井宏佳, 大宮一人, 三河内弘, 田邊潤, 横山広行. 我が国における急性心筋梗塞症回復期心臓リハビリテーションの全国実態調査. 心臓リハビリテーション 2006;11(1):36-40
 26. 友池仁暢, 横山広行, 北風政史, 朝倉正紀. 「循環器学2007年の進歩」心不全研究の進歩. 循環器専門医 2008;16(1):124-130
 27. 横山広行. 特集<心血管疾患診療のエクセレンス>IV 心血管疾患の診療ブラッシュアップ「高齢者における心血管疾患」日本医師会雑誌特別号. 137:S169-s170, 2008.
 28. 後藤葉一, 齋藤宗靖, 岩坂壽二, 代田浩之, 上月正博, 上嶋健治, 牧田茂, 安達仁, 横井宏佳, 大宮一人, 三河内弘, 横山広行. 循環器病研究委託費(15-指2)研究班. わが国における心臓リハビリテーションの実態調査と普及促進に関する研究. 心臓リハビリテーション, 13(1): 49-52, 2008.
 29. 上月正博, 齋藤宗靖, 岩坂壽二, 代田浩之, 上嶋健治, 牧田 茂, 安達 仁, 横井宏佳, 大宮一人, 三河内弘, 横山広行, 後藤葉一, 厚生労働省循環器病研究委託費(15指-2).

(「わが国における心疾患リハビリテーションの実態調査と普及促進に関する研究」班) わが国における心臓リハビリテーションの採算性:他施設調査結果. 心臓リハビリテーション. 2009; 14(1): 269~275

30. 安田聡、澤野宏隆、筈井寛、鶴飼勲、横山広行、嘉田晃子、大橋潤子、佐瀬一洋、野々木宏. 電氣的除細動抵抗性院外心停止例に対するIII群静注薬ニフェカランツの効果・安全性に関する多施設共同レジストリ研究 (J-PULSE II). 心電図, 29(1): 44-49, 2009
31. 横山広行 野々木宏 友池仁暢. 循環器診療におけるリスクマネジメント「循環器診療におけるリスクマネジメントとしての院内心停止への対策」循環器専門医2009.Vol117(2)290-294
32. 横山広行、大塚頼隆、野々木 宏. 急性心筋梗塞と脳卒中に対する急性期診療体制の構築に関する研;循環器救急医療体制におけるモバイル・テレメディシンの現状 日本遠隔医療学会雑誌 2009;5: 143-144.
33. 松岡志帆、奥村泰之、市倉加奈子、小林未果、鈴木伸一、伊藤弘人、野田崇、横山広行、鎌倉史郎、野々木宏. 心不全患者の終末期に対する心臓専門医と看護師の認識 —ICD認定施設の全国調査—J Cardiol Jpn Ed 2011; 6: 115-121.
34. 林靖之、西内辰也、梶野健太郎、大石泰男、行岡秀和、石見拓、横山広行、甲斐達朗. 目撃された病院外心原性心停止症例における救急蘇生ガイドライン変更前後での転帰の比較 ウツタイン大阪プロジェクトより. 日本集中治療医学会雑誌 2011;18:363-368.
35. 横山広行、野々木宏. 循環器救急とモバイル・テレメディシン・システム. 循環器病研究の進歩. 2011; 32(1):35-42
36. 横山広行. Acute Heart Failure Syndrome. 心臓 2012; 44(6): 771-774.
37. 横山広行、岸本一郎、西謙一. 第1回講演会:岩手県盛岡市減塩で健康教室~脳卒中予防は食事から~. 循環器病研究の進歩. 2012(特別号): 63-70.
38. 横山広行、花田裕之、伊藤弘人、佐田誠、野々木宏. 主任研究者報告. 循環器病研究の進歩. 2012(特別号): 81-84.
39. 井上知美、高田幸千子、横山広行、大西純子、嘉田晃子、米本直裕、小竹武、野々木宏. 心肺蘇生講習会実施による病院職員の救命意識の変化.日本臨床救急医学会;2012: 15;401-407.
40. 横山広行. 心臓病患者のうつの評価と対応. 日本社会精神医学会雑誌 2013; 22: 131-137
41. 横山広行. 心疾患患者のうつの評価と対応. 心臓 2013; 45(10);1334-1338
42. 横山広行. 心不全患者におけるうつを考える. 日本老年医学会雑誌 2013;50 (6): 748-751
43. 横山広行、野々木宏. 院内心停止に対する多施設共同登録研究 (J-RCPR)における基礎疾病の影響に関する検討. ICUとCCU 2014: 38(3)
44. 横山広行.「第18回アミオダロン研究会講演集」心肺蘇生の進歩とアミオダロンの位置づけを考える. Progress in medicine 2014;34(suppl):630-633
45. 黒澤毅文、中田康紀、横山広行、安斉俊久、石原正治、安田聡、小川久雄. 虚血性心疾患に基づく急性非代償性心不全の臨床特徴と予後規定因子に関する検討. 冠疾患誌 2014; 20 (in press)
46. 横山広行. 「第19回アミオダロン研究会講演集」アミオダロン中止後に発症したARDS様重症肺障害に対する病診連携の経験. Progress in medicine 2015;35(suppl):371-375
47. 笠岡俊志、高山守正、長尾 建、中川 晋、宮崎俊一、平山篤志、長谷守、横山広行、田

- 原良雄、佐藤直樹、新沼廣幸. 「心臓疾患集中治療室 (CCU) の現状に関するアンケート調査報告」日本集中治療医学会雑誌 2016;23:365-9
48. 横山広行. 『チーム医療の実践』 「在宅」心臓 2016; 48(7): 725 -729 2016
49. 横山広行. 特集; 変わりつつある高齢者心不全の考え方と治療法「高齢者には至適薬物療法と栄養はどちらがより重要か」Geriatric Medicine(老年医学). 2016; 54(7): 675 -679.
50. 横山広行. Guidelines 2000からの心肺蘇生ガイドラインにおける変遷を振り返る. ICUとCCU. 2016; 40(suppl): 5091-5096.

ガイドライン

51. 協力員 笠貫 宏, 相澤義房, 木村一雄, 源河朝広, 住友直方, 高山守正, 武田聡, 中澤 誠, 長尾 建, 野々木 宏, 三田村秀雄, 水野杏一, 岡田和夫, 坂本哲也, 坪 宏一, 菊地 研, 小玉 誠, 児玉安司, 清野精彦, 高木 厚, 田原良雄, 丹羽明博, 船崎俊一, 横山広行, 丸川征四郎, 宮坂勝之, 日本循環器学会: 循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2007-2008年度合同研究班報告) 班長 笠貫宏 『循環器医のための心肺蘇生・心血管救急に関するガイドライン』. Circulation Journal 2009, 73 (Suppl. III): 1361-1456.
52. 班員 日本循環器学会循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2008-2009年度合同研究班報告) 班長 野々木宏 『循環器領域における末期医療への提言』心不全の終末期医療 2010年
53. 協力員 循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2010年度合同研究班報告) 班長 和泉徹 急性心不全治療ガイドライン(2011年改訂版)
54. 2010 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science With Treatment Recommendations 「Part 9: Acute Coronary Syndromes」Circulation. 2010;122:S422-S465. The Acute Coronary Syndrome Chapter Collaborators for collaborations on the worksheets contained in this section: William J. Brady, Teresa R. Camp-Rogers, Marc J. Claeys, Alan M. Craig, Russell Denman, Judith Finn, Chris Ghaemmaghami, Ian Jacobs, Michael C. Kurz, Dawn Yin Lim, Steve Lin, Venu Menon, Patrick Meybohm, Peter T. Morley, Dirk Mueller, Hiroshi Nonogi, Brian J. O'Neil, Joseph P. Ornato, Julian J. Owen, Valeria Rac, Hiromi Seo, Kimberly A. Skelding, Christian Spaulding, Nico R. Van de Veire, and Hiroyuki Yokoyama.
55. 木村一雄, 瀬尾宏美, 菊地 研, 小島 淳, 朔 啓二郎, 白井 伸一, 田原良雄, 友渕佳明, 中尾浩一, 花田裕之, 的場哲哉, 真野敏昭, 横山広行. ガイドライン作成合同委員会委員 『JRC蘇生ガイドライン2010』監修 日本蘇生協議会・日本救急医療財団, へるす出版 2011年.
56. 委員. 日本心不全学会高齢心不全患者の治療に関するステートメント策定委員(木原康樹委員長) 『高齢心不全患者の治療に関するステートメント』. 2016年

論文(総説, その他)

1. 宗像一雄, 横山広行, 高野照夫. 特集「心不全の治療」急性心不全 医薬ジャーナル 28:39-44, 1992.

2. 高野照夫, 横山広行. 急性心不全の治療と強心薬 治療学 26:61-65, 1992.
3. 横山広行, 高野照夫, 田中啓治. 硝酸薬. Medical Practice 10: 607-611, 1993.
4. 田中啓治, 横山広行, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一. 冠動脈内血栓溶解療法と急性期リハビリテーション. 診療と新薬 30:571-575, 1993.
5. 横山広行, 高野照夫. 特集「ベットサイド心臓病学」ハイリスク心疾患のベットサイド・モニタリング. 総合臨床 43:659-663, 1994.
6. 高野照夫, 木内要, 子島潤, 横山広行. 重症急性心不全の最新の治療－静注用強心薬からの離脱とその後の治療管理－ 臨牀と研究. 1997;74(10):193-199.
7. 山崎努, 三谷一裕, 横山広行, 川名正敏. 日本人の心不全を診る;海外のエビデンスをどのように適用するか(座談会). Medicina. 41:2004-2011, 2004.
8. 横山広行. 特集「心原性心停止への挑戦－救急医療の最前線」救急システムの改善、地域ネットワークの現状;CCUネットワーク、輪番制. Heart View. 9;98-102, 2005
9. 横山広行. 病態ごとの治療抵抗性不整脈の管理－急性心筋梗塞における不整脈管理. Modern Physician. 2006. 26; 10: 1560-1566
10. 横山広行. 特集「心不全」実地医家の診断と評価の進めかた:胸部X線により診断する. Medical Practice 2007; 24(5): 815-820.
11. 横山広行. 特集「慢性心不全の地域連携－プライマリ・ケア医の外来マネジメント方法」血清BNP値;病態と胸部X線所見より特長を学ぶ. 治療2007;89(6):2049-2057.
12. 横山広行. 特集「急性心不全－治療の最前線－」診断と治療のトリアージ－初期治療から集中治療室へ－. Heart View 2008;2:45-50
13. 横山広行.「研修・当直医必携シリーズ② 特集●循環器救急」疾患別救急診療と初期治療. 肺血栓塞栓症. 救急医学 2008; 32:464-466
14. 友池仁暢、毛利正博、横山広行、川名正敏. 心不全の最近の動向と治療;心不全の初期治療(座談会). Current Therapy. 2008;26:75-85.
15. 横山広行; 血管疾患診療ガイドライン－血管疾患診療の際に知っておくべき基礎知識－ルリッシュ(Leriche)症候群. Vascular Lab. 2009;6:98-101.
16. 横山広行、野々木 宏. 特集「医療安全対策としての院内急変時対応システム」院内心停止登録の意義;登録方法と米国NRCPRとの比較検討. 医療安全. 2009;19:26-29.
17. 横山広行. 特集「急性冠症候群治療の最前線を知る」我国における急性心筋梗塞症の発症登録の現状. Heart View. 2009;13(11):1250-1254
18. 横山広行.「院内心停止と病院内救急蘇生チーム」CARDIAC PRACTICE. 2010;21:279-284
19. 横山広行. 特集「急性心不全」血圧が保たれた急性心不全:日本のレジストリーデータから考える. Intensivist 2010;2(4):749-755
20. 横山広行. 特集「虚血性心疾患の診断と治療 up to date」心肺蘇生の実際とACLS. クリニシャン 2010;57(589):113-118
21. 横山広行&野々木宏. 特集「心停止からの生還」J-PULSE-Hypoから. 循環器内科. 2010; 68;240-247.
22. 横山広行. 特集「ACLSの改変点とPCAS」心停止後症候群を見据えたCPR. 救急医

療ジャーナル2010;18(105):17-21.

23. 横山広行. 特集「症例別6つの人工呼吸管理」急性心不全.呼吸器ケア. 2010;8(11): 48-53
24. 横山広行. 特集「救急領域における循環器用薬の使い方」肺血栓塞栓症. 救急医学 2010;34(12):1705-1710
25. 横山広行. 特集『急性心不全症候群の管理のパラダイムシフト』急性心不全症候群のプレホスピタルからERでの対処法. ICUとCCU. 2011;35(1): 9-15
26. 横山広行. 急性心不全治療の進め方. カレントセラピー 2011;29(10):18-22
27. 横山広行. 特集「変わりつつある急性心不全の診療」急性期病態把握.セフィエロ 2012;15;6-10.
28. 横山広行&野々木宏. 特集「蘇生科学と教育:市民へのアプローチ(最前線)」新しい救急システムについて. Heart View 2012: 16(10); 62-67.
29. 横山広行. 特集「G2010からG2015へー第5回日本蘇生科学シンポジウムより」心停止後症候群に対する低体温療法と急性冠症候群.救急医学 2012;36(12); 1651-1656.
30. 横山広行. 2013心不全治療薬. 新薬展望 2012;49(S-1):440-447.
31. 横山広行. 特集「バイオマーカーupdate: 診断から治療評価へ」肺血栓塞栓症. ICUとCCU 2013;37(1):11-18.
32. 横山広行. 特集「救急医療に必要な不整脈診療の実際」初診室にて1分で心電図を読む工夫:見逃してはならないポイント.救急医学2013; 2
33. 横山広行. 特集「心不全の診断と治療の現状ー最近のガイドラインの把握と臨床判断ー」Nohria-Stevenson分類. 2013; 31(4): 89
34. 横山広行. 特集「循環器疾患患者の末期医療」循環器疾患患者の末期医療. HEART 2013;3:16-21
35. 伊藤弘人、高田弥寿子、横山広行、他3名. 心疾患患者さんのうつの現状. HEART nursing 2013;26:84-88
36. 横山広行. 企画編集「循環器疾患患者のメンタルケア」Heart 2013: 11(3)
37. 横山広行. 特集「2025年を見すえた心不全治療ロードマップ」都市型在宅医療の実践 内科 2014; 113(3): 511-514.
38. 横山広行. 特集「うつ病治療の新たな戦略ー」心疾患におけるうつ病の影響. Depression Strategy 2014;4(2)
39. 横山広行. エッセンス1 心臓病患者さんの在宅ケア. ハートナーシング 2016; 29(7): 706-709.
40. 横山広行. 視野が広がる ミニ特集 外来と地域をつなぐエッセンスを伝授! 心臓病患者さんの在宅ケア Tips集 ハートナーシング 2016; 29(7): 705-705.
41. 横山広行. 心不全パンデミックという未来予想. ハートナーシング 2016; 29(6): 513-513.
42. 横山広行. 「高齢心不全患者の治療に関するステートメント」が伝えたい高齢者の併存症と栄養評価. ハートナーシング. 2017; 30(5): 516-521.
43. 横山広行. 特集「高齢心不全のトータルマネジメント」精神疾患:抑うつ・せん妄など. Modern Physician. 2018; 38(6)

著書(監修者, 編集者)

44. 横山広行. 共著分担 内科学(金澤一郎ほか) VI.循環器疾患;循環動態のモニタリング.医学書院 2006年
45. 横山広行. 共著分担 ECC超急性期をのりこえる(野々木宏 編)6章 治療法の実際;合併症に対する対策(2)ポンプ失調の治療.中山書店 2007年
46. 横山広行. 共著分担 「循環器疾患の診療マニュアル」(友池仁暢 編)循環器診療におけるトリアージ.中山書店 2009年
47. 横山広行. 共著分担 「循環器疾患の診療マニュアル」(友池仁暢 編)急性心不全における非侵襲的陽圧呼吸.中山書店 2009年
48. 横山広行. 共著分担 「研修医・若手医師のためのCCUマニュアル」(田中啓治 編)心臓突然死と防止」文光堂
49. 横山広行. 共著分担「救急・集中治療」<特集;心不全Q&Aプレホスピタルから慢性期まで 佐藤直樹監修>「プレホスピタル・救急外来から入院までのチーム医療」総合医学社2010年
50. 横山広行. 共著分担 「循環器研修ノート」(永井良三 監修)第3章 研修で学ぶべき知識と技術B(基本的な)管理・処置「水分出納の観察」診断と治療社 2010年
51. 横山広行. 共著分担 「循環器研修ノート」(永井良三 監修)第3章 研修で学ぶべき知識と技術B(基本的な)管理・処置「酸素投与」診断と治療社 2010年
52. 横山広行. 共著分担 「カレントシリーズ(循環器臨床サピア)」(永井良三 監修)特集<心不全の急性期対応>胸部X線写真を活用する.中山書店 2010年
53. 横山広行. 共著分担 「カレントシリーズ(循環器臨床サピア)」(永井良三 監修)特集<心不全の急性期対応>挿管・呼吸管理.中山書店 2010年
54. 横山広行. 共著分担 心肺蘇生・心血管救急ガイドブック「電解質異常・中毒・偶発性低体温」(編集:笠貫宏、野々木宏、高木厚)2012年南江堂
55. 横山広行. 共著分担 新しい診断と治療のABC4「急性心筋梗塞(改訂第2版)」(高野照夫 企画)「心不全の治療1.急性期(CPAP, 機械的治療, 右梗塞, 肺水腫とショックを含む)」最新医学社 2011年
56. 横山広行. 共著分担 「レジデントノート」Vol.13 No10 増刊「救急・集中治療での重症患者管理」(真弓俊彦 編集)「心不全(高血圧性緊急症を含む)での対応」羊土社 2011年
57. 横山広行. 共著分担 「救急・集中治療」特集『ER・ICUで知っておきたい外科手技と処置(編集 久志本成樹)』『IABP』. 23(3・4) 2011年
58. 野々木宏&横山広行. 共著分担 心不全の緩和ケア『内科患者のメンタルケアアプローチ;循環器疾患編(樋口輝彦監修)』94-100 新興医学出版社 2013年
59. 横山広行. 共著分担 『心不全をマスターする(服部隆一 編)』心不全末期の対応.分光堂 2012
60. 横山広行. 共著分担「徹底ガイド 心不全Q&A-プレホスピタルから慢性期まで-(佐藤直樹編集)プレホスピタル・救急外来から入院までのチーム医療.総合医学社2013年
61. 横山広行. 共著分担 『心不全の緩和ケア(編集 大石醒悟ら)』循環器内科医の視点から.南山堂2014年

62. 横山広行. 共著分担『循環器研修ノート 改訂第2版』第3章 研修で学ぶべき知識と技術 B(基本的な)管理・処置 3 水分出納の観察. 診断と治療社 2016年
63. 横山広行. 共著分担『循環器研修ノート 改訂第2版』第3章 研修で学ぶべき知識と技術 B(基本的な)管理・処置 4 酸素投与. 診断と治療社 2016年
64. 横山広行. 共著分担『ここが知りたい-急性心不全の救急・集中治療管理(編集 佐藤幸人)』Ⅲ章 初期救急治療 2. 初期治療に必要な呼吸管理. 中外医学社 2016年
65. 横山広行. 共著分担『エキスパートが現場で明かす 心不全診療の極意』Ⅲ 急性心不全 19.「急性心不全におけるNIPPV:テーラーメイド療法は必要か?」南山堂 2016年
66. 横山広行. 単著『ここが知りたい かかりつけ医のための心不全の診かた』中外医薬社 2017年

座談会

67. 山崎努、三谷一裕、横山広行、川名正敏. 日本人の心不全を診る;海外のエビデンスをどのように適用するか(座談会). *Medicina*. 41:2004-2011, 2004.
68. 友池仁暢、毛利正博、横山広行、川名正敏. 心不全の最近の動向と治療;心不全の初期治療(座談会). *Current Therapy*. 2008;26:75-85.
69. 安村良男、佐藤直樹、横山広行、橋村一彦、奥田純. 心不全超急性期をいかにのりきるか(座談会). *心不全 ON-SITE*. 2010; 2: 1-7.
70. 佐藤幸人、横山広行、多留ちえみ、宮澤靖氏. チームで挑む慢性心不全診療;多職種力を活かす新たな試み(座談会). *週刊医学界新聞*. 2012.2.27 第2967号
71. 原田和昌、木原康樹、絹川弘一郎、横山広行. 超高齢化社会における心不全治療の考え方(座談会). *臨床医のための循環器診療 No.25*
72. 木原康樹、和泉徹、野々木宏、横山広行. 特集「超高齢社会における循環器疾患」超高齢者パンデミック時代における循環器診療(座談会). *CARDIAC PRACTICE* 2017; 28(2):61-65.
73. 倉林正彦、坂田泰彦、横山広行. 増加し続ける高齢者心不全に対する対策(座談会). *カレントセラピー*. 2018
74. 今井忍、黒木崇文、進藤直久、横山広行. 高齢者心房細動患者の抗凝固療法を考える(座談会). *AF・VTE edo-net*. 2018